

園本庄池がある。現在では農業用水池としてだけでなく、周辺を整備し、自然歩道や池には、鯉、鮒、ハヤ、ワカサギ等の魚が豊富で年中太公望の別天地である。豊かな水面には緑の帝釈山が映え、犀川公園としての開発が進められつつある。本庄池の工事着工は昭和十三年度で昭和二十三年度に工事が完了している。総事業費は四二万八〇〇〇円、貯水量一四九万八七二〇立方メートル、堤高二〇・三メートル、堤長は本堤二四三・五メートル、副堤が一八五・一メートルで、堤体積二六万六四二九立方メートル、放水路一四・八五メートル、導水路二二四八・五メートル（犀川町大字喜多良くずれより取水）である。

(二) 石堂池

農業用水池として、昭和五十七年度に新設した。着工は昭和五十七年度、完了は五十九年度。総事業費六億九五〇〇万円、貯水量一〇万一〇〇立方メートル、堤長八〇メートル、取水路六九メートル、余水吐七六メートルである。

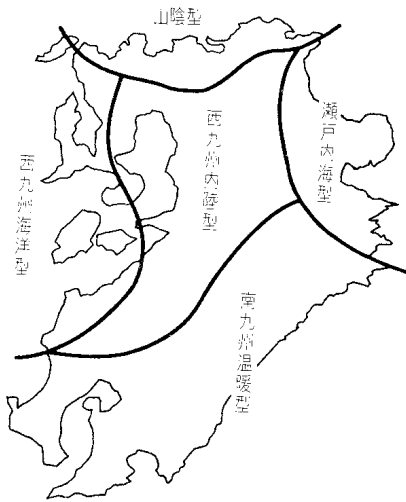
第三節 気 候

一 福岡県の気候区分

〔福岡県管区気象台
『新福岡県の地理』(一九七四年光文館)参考〕

福岡県の気候は、冬は真正面から北西季節風を受けて、しばしば亜寒帯的な気候で、曇天、降雪の多い日本海型の気候となる。夏は南東季節風の影響で、亜熱帯的酷暑と降雨の多い太平洋型の気候となる。その間六月の梅雨期は年間の最多雨月をなし、また八、九月に頻度の高い台

第5図 九州の気候区分



(福岡管区気象台資料)

第4図 福岡県の気候区分

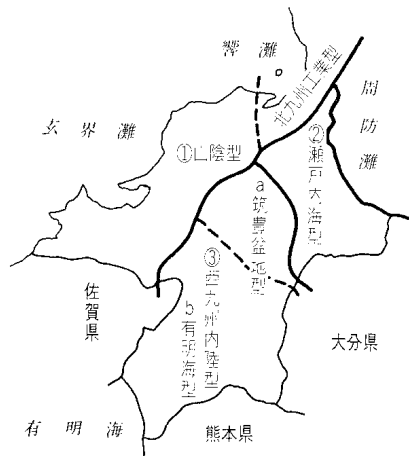


図1 福岡県の気候区分

風の襲来をみる。福岡県の気候区は次の三つに大別される。

- 1 山陰型気候区 県北部沿岸で、冬は北西季節風をまともに受ける。大工場群による大気汚染が激しく、特殊な都市型気候を示す北九州工業気候区も含まれている。

- 2 瀬戸内海型気候区 周防灘沿岸の豊前平野で、北九州沿岸とともに降水量が少ない。

- 3 西九州内陸型気候区

a 筑豊平野(盆地)気候区 県下では昼と夜、夏と冬の気温の較差が最も大きく、十月～十二月には盆地霧の発生が多い。

b 有明海気候区 筑後平野の気候は各季節とも最高気温が高く、最低気温が低い内陸型で、年降水量は他の平野よりかなり多い。(第4・5図)

次に福岡管区気象台発表(平成二年十月二十日)の三か月予報で十二月～二月までの九州北部地方(山口県を含む)を例として挙げてみると、この期間の前半は暖かい日が多く後半には寒さの厳しい時期がある見込み、冬季(十二月～二月)の平均気温は平年並みである。

- (1) 天気 12月 冬型の気圧配置は長続きせず、暖かい日が多い。

1月 前半は平年に比し暖かい日が多く、後半は冬型の気圧配置が強まり、寒さの厳しい時期がある。

2月 冬型の気圧配置が時々強まり、寒さの厳しい時期がある。

- (2) 要素別予報

(3) 平成二年七月の月平均気温、月降水量と福岡の日平均気温と日降水量をグラフにする。(第6・7・8図)

要素別予報

要素	期間	12月	1月	2月
気温		高い	平年並み	低い
降水量		平年並み	平年並み	平年並み
日照		多い	平年並み	平年並み

〈参考資料〉

- (2) 月平均気温、月降水量、月日照時間の階級区分(福岡)

要素	表現			
		高い(多い)	平年並み	低い(少ない)
気温偏差(度C)	12月	0.5	0.4～-0.6	-0.7
	1月	0.5	0.4～-0.5	-0.6
	2月	1.0	0.9～-0.6	-0.7
降水比率(%)	12月	121	120～79	78
	1月	134	133～72	71
	2月	122	121～71	70
日照比率(%)	12月	108	107～88	87
	1月	115	114～88	87
	2月	114	113～87	86

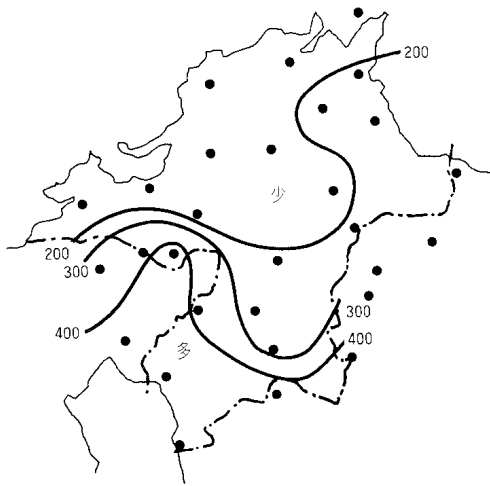
〈参考資料〉

- (1) 平年値表(1951～1980年の福岡の値)

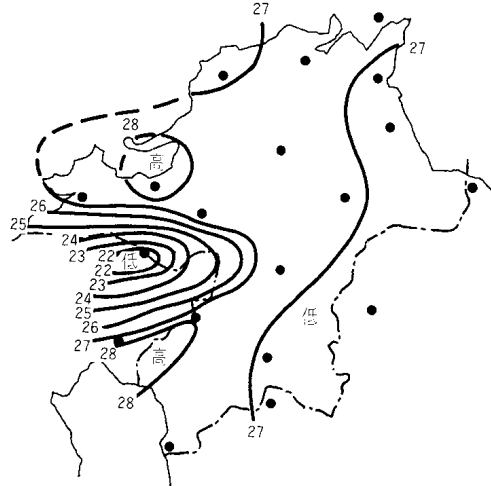
要素	期間	12月	1月	2月
気温(度C)		8.1	5.7	6.4
降水量(mm)		65.0	80.2	74.3
日照(時間)		102.6	88.9	103.4

(日照は平均値に準ずる値である)

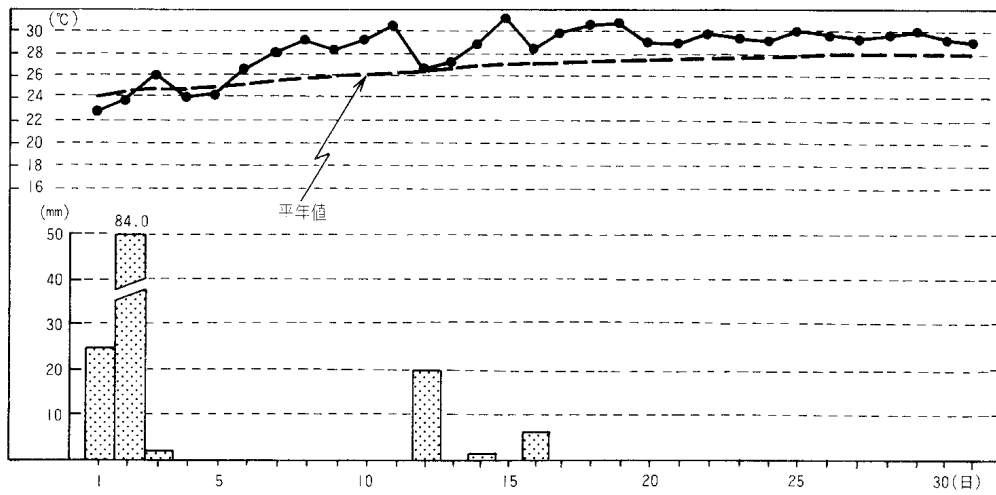
第7図 平成2年7月の月降水量 (ミリメートル)



第6図 平成2年7月の月平均気温 (℃)



第8図 平成2年7月福岡の日平均気温と日降水量



第7表 福岡管内気象台気象月表

1990年(平成2年)7月

日	気温		湿度		相対湿度		平均 雲量 10%比	日照 時間 h	降水量 mm	最大降水量		平均 風速 m/s	最大風速		天候	概況	記事摘要	日	
	平均 ℃	最高 ℃	最低 ℃	平均 %	最小 %	1時間				10分間	風速 m/s		風向 16方位	風速 m/s					風向 16方位
1	22.9	24.2	21.4	93	84	10.0	—	25.0	5.0	1.5	1.6	5.3	SE	8.8	SE	雨	大雨	●	1
2	23.9	25.3	22.4	95	92	10.0	—	81.0	22.5	3.5	3.5	8.5	SE	17.4	SE	大雨	雨時々曇	●	2
3	26.2	29.7	23.0	85	66	7.0	4.8	2.0	2.0	1.3	2.2	3.9	NW	10.3	NW	晴	晴	●	3
4	24.0	27.6	21.8	81	67	6.0	9.4	—	—	—	2.9	6.7	NNW	9.4	NNW	晴	晴	●	4
5	24.3	28.4	19.9	77	62	3.3	12.4	—	—	—	2.0	5.9	NNW	8.9	NNW	晴	晴	●	5
6	26.6	30.1	23.6	81	65	8.3	1.9	—	—	—	1.9	4.6	N	6.2	SSW	曇	晴	●	6
7	28.1	32.8	24.3	76	56	3.2	7.8	—	—	—	2.3	7.1	SSW	8.4	SSW	曇	晴	●	7
8	29.2	33.5	24.1	71	47	6.0	11.7	—	—	—	2.3	5.3	NNW	8.8	SSW	曇	晴	●	8
9	28.3	32.5	24.1	71	55	2.0	13.3	—	—	—	2.8	6.7	NNW	9.3	SSW	晴	晴	●	9
10	29.1	33.2	25.1	70	58	3.5	12.1	—	—	—	2.4	5.3	N	7.8	N	晴	晴	●	10
11	30.4	35.3	26.7	61	46	7.3	10.4	0.0	0.0	0.0	4.4	8.8	S	13.7	SSE	晴	晴	●	11
12	26.4	28.6	24.8	81	69	10.0	0.3	20.0	10.0	4.5	3.7	7.4	SSW	14.4	SSW	曇時々雨	曇時々雨	●	12
13	27.1	30.3	24.9	74	60	7.3	9.5	—	—	—	2.6	5.9	NNE	8.8	SSW	曇	曇	●	13
14	28.5	31.5	24.5	74	63	10.0	1.1	1.0	1.0	1.0	3.7	8.9	S	16.3	S	曇	曇	●	14
15	30.8	34.6	29.0	65	32	6.5	8.6	—	—	—	4.3	7.7	S	13.8	SSW	曇	曇	●	15
16	28.1	33.0	24.4	75	60	9.0	3.7	6.5	3.0	3.0	3.8	6.8	SE	11.7	SSW	曇時々雨	曇時々雨	●	16
17	29.7	33.2	26.5	70	57	6.5	5.1	0.0	0.0	0.0	3.5	5.6	S	13.5	S	曇	曇	●	17
18	30.5	33.6	28.5	64	53	3.2	6.4	0.0	0.0	0.0	4.5	7.4	S	13.4	S	曇	曇	●	18
19	30.7	35.0	27.4	65	49	3.8	9.0	—	—	—	3.1	5.1	SSW	10.0	SSW	曇	曇	●	19
20	28.8	33.0	25.4	77	57	4.0	11.2	—	—	—	2.6	5.8	NNW	9.0	NNW	晴	晴	●	20
21	28.9	32.0	25.8	72	61	8.3	10.5	—	—	—	2.3	4.6	N	7.2	N	晴時々薄曇	晴時々薄曇	●	21
22	29.8	33.1	26.4	69	58	3.0	11.6	—	—	—	2.3	3.9	N	7.7	N	曇	曇	●	22
23	29.3	33.3	26.3	72	58	5.1	10.0	0.0	0.0	0.0	2.4	5.1	NNW	8.9	NNW	曇時々雨	曇時々雨	●	23
24	29.1	33.2	26.0	73	52	6.0	6.3	0.0	0.0	0.0	2.6	5.4	NNW	8.3	NNW	曇時々雨	曇時々雨	●	24
25	30.0	34.0	26.6	70	50	4.0	10.7	0.0	0.0	0.0	2.8	6.9	NNW	9.6	NNW	曇	曇	●	25
26	29.7	33.6	26.3	70	53	4.0	10.9	—	—	—	2.3	6.0	NNW	9.2	W	曇	曇	●	26
27	29.3	33.0	26.1	72	59	5.3	9.5	—	—	—	2.4	6.6	NNW	8.7	NNW	曇	曇	●	27
28	29.6	33.3	26.5	76	63	4.5	8.9	0.0	0.0	0.0	2.2	5.7	NNW	8.4	N	晴	晴	●	28
29	29.9	33.7	26.0	74	57	6.3	11.8	—	—	—	3.0	7.8	NNW	10.7	N	晴	晴	●	29
30	29.3	33.0	27.0	75	62	2.5	11.3	—	—	—	2.5	7.9	N	11.2	N	晴	晴	●	30
31	29.1	32.9	26.1	77	63	1.3	11.3	—	—	—	2.3	6.3	NNW	9.0	NNW	晴	晴	●	31

第3章 地勢と気候

福岡管区気象台気 一九九〇年（平成二年）七月の気象概況を見て

象月表（第7表） みると六月末より引き続き梅雨前線の活動で三

日まで雨が続けている。

二日は低気圧が対馬海峡を通過したので、県下全域に大雨が降っている。特に筑後地方では一時間に五〇ミリ前後の雨が降り、日降水量も二〇〇〜三〇〇ミリを観測し、大きな災害が発生した。十一日東シナ海を北上した台風七号が、十二日朝、朝鮮半島に上陸し雨が降った。十四〜十七日は朝鮮半島南部に梅雨前線が停滞し、とろどろで雷を伴った雨が降った。十八日以降は太平洋高気圧が強まって、九州北部地方は平年と同日の梅雨明けとなった。梅雨明け後は太平洋高気圧に覆われ、晴天が続ぎ厳しい暑さとなった。月平均気温はやや高く、降水量はやや少なく、日照時間はかなり多かった。

二 本地域の気候

本町の気候は、前述した福岡県の気候区分の瀬戸内海型気候区に入っている。南北に二一・五キロという細長い地形と南高北低の地形のため気温の差が著しく、低地では町の中心部と比較すると四〜五度Cの差がある。最近一〇か年間の平均気温一五・五度Cであり、最高が三四・九度Cで最低がマイナス三・九度Cである。年間の降水量は一七二二ミリで六、七月に集中しており南部の山間地にくくしたが、降水量も多くなっている。次に三地域の三小学校に依頼した平成二年十月の気温測定記録表を見ると第8表のとおりである。